



南相馬市立原町第三小学校

令和4年8月29日発行

重点目標

「よく考え チャレンジし 一歩前へ」  
(自分をパワーアップ)

# きらり

 ミッション

「すべての児童の可能性を引き出し伸ばす」

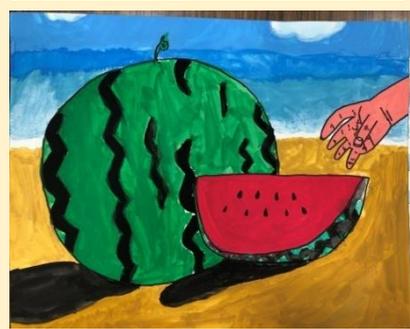
## 2学期の合い言葉！

始業式の朝、けやきの広場の前で交通指導をしていると、「おはようございます。」と、さわやかなあいさつする子供たち。日焼けした顔がまぶしく輝いて、楽しく充実した夏休みを過ごしたことを感じました。

始業式の中で、二つの合い言葉について、話をしました。一つは、「一日ひとつ みんなのために」です。1学期からの継続です。早速、6年生は学級清掃の時間に、自主的に階段やトイレの清掃を行っていました。二つ目は、「チャレンジ」です。2学期は竹馬大会、持久走記録会、遠足、宿泊活動、まなびっこ発表会等の行事があります。これらの行事で、昨年度できなかったことにチャレンジするよう話をしました。例えば、竹馬大会で昨年10歩進むことができた子供たちは、今年は20歩を目指すとか、持久走記録会で、昨年度のタイムを更新するとか。二つの合い言葉を達成できるよう励ましていきたいと思います。

## 思い出いっぱいの夏休み！

全国児童画コンクールに出品する1年生から6年生の193点の作品を見ました。三年ぶりに行われた相馬野馬追や花火大会での子供たちの喜びが伝わってきます。一部の作品を紹介します。



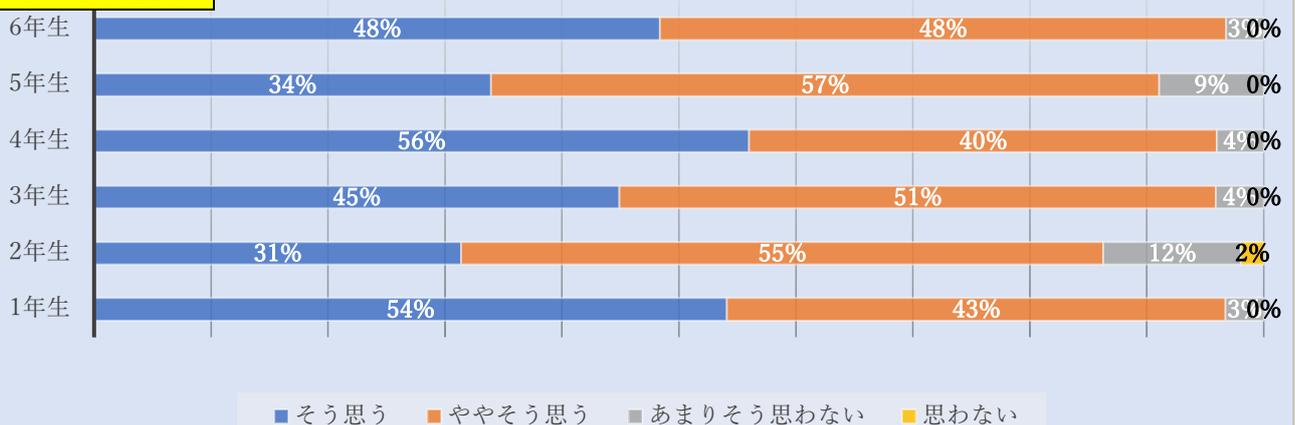
## できる・わかる授業を目指して

7月1日の授業参観後の保護者の皆様のアンケート結果（A）と1学期末に行った児童のアンケート結果（B）です。「できた、分かったが実感できる」に対して「そう思う」「ややそう思う」という回答が約9割でした。また、わからないところをそのままにせず、自分が「できた」「分かった」ところまで取り組んでいると回答した児童は、学年ごとにばらつきがあるものの8割から9割になっています。

課題は、2年生、5年生、6年生の「あまり取り組んでいない」が7%から20%になっていることです。対策として、2年生については、市雇用の支援員を、算数を中心に配置し、「わからない」「できない」に対応します。5年生は、県の常勤講師や市の支援員を配置し、算数の授業を学年5クラスに分けて少人数で対応します。6年生は、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、内容によっては、算数の授業を市の学力向上支援員と教科担任とで習熟度別に行います。6年生は今年度から算数と社会の教科担任制を実施しています。

### (A) 保護者

学校は、子供たちに「できた」「わかった」が実感できる授業をしている。



### (B) 児童

授業の中で、分からないときそのままにせず、自分が「できた」「わかった」ところまで取り組んでいますか？

